
とある世界の夏の日

春日井

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

とある世界の夏の一日

【コード】

N3268M

【作者名】

春日井

【あらすじ】

喫茶店のマスターと少し間抜けな少女の話

「・・・あれ・・・」>br<ふと気付けば、知らない通りに立っていた。>br<「ちよつ、えー・・・?」>br<キヨロキヨロと周囲を見渡しても見慣れたものが一つも無い。賑やかな表通りとは違う閑静な通りが続いている。何時の間にやら脇道に入ってしまったていたようだった。元来た道を戻っても再び迷うのが落ちだろう。ぼんやり歩いていたのだからどこをどう来たかなんて覚えていないし、覚えていればここまで困っていない。>br<「あー・・・」>br<仕様がな、どこかお店で道を聞こうとサーシャは歩を進めた。一番手前の角を曲がると一面に白い花が咲き乱れていて、そしてあつけなくも探していた店は見つかった。C a f ? 『芙蓉』と看板が出ていて、どうやら喫茶店のようだった。見た目の雰囲気も悪くは無いし、自分のような子供も多少気後れするが大丈夫だろうと結論を出す。意を決して中に入った。

>br<

>br<

>br<

>br<

カランとドアベルが鳴り、客の来訪を告げる。カウンターに座って本を読んでいたギヤルソンの青年が顔を上げた。>br<「いらつしやい」>br<本を閉じて立ち上がり、こちらへどうぞと声を掛けられる。>br<「あ・・・あの違うんです！道に迷って・・・」
>br<「表通り・・・?表通りならうちの店を出て、左へ道なりに歩けばすぐに表通りだ、お嬢さん?」>br<「ええ!?」>br<びつくりして思わず顔を見上げると面白そうに見降ろして来る目と目があう。よっぱど焦っていたんだと言われ、赤面して俯いてしまった。>br<「まあ・・・ここからだ死角にあたるしなあ」

> b r < 「いえ・・・あの、ありがとうございます！」> b r < 居た堪れなくなりさっさと出ようとお礼を言つてドアに手をかける。
> b r < 「どういたしまして・・・でも、急ぎで無いのならここでゆっくりしていくと良い」> b r < 「な・・・なんですか？」> b r < 「じきに雨が来る」> b r < そう言つて青年は微笑んだ。> b r < > b r < > b r < > b r <

彼の言つたとおり、雨はすぐに降つてきた。夕立が止むのをぼんやりと窓の外を眺めていると、コトリとテーブルに紅茶とお菓子が置かれる。> b r < 「どうぞ」> b r < 「あの、頼んでませんけど・・・」> b r < 「試作品なんだ・・・客のお嬢さんに出すのもどうかと思つたけど」> b r < じつと待っているのも暇だろうと試食をという。代金は取らないから安心していいとも言われた。> b r < 「夏限定のワッフルサンド・・・右から白桃とサクランボ、レモンクリームにサクランボのコンフィ、それでこれがコーヒージェリーとコア風味のチョコクリーム」> b r < どうぞと促されおそるおそるフォークを手にとつた。> b r <

> b r <

> b r <

> b r <

> b r <

「ありがとうございます」> b r < 雨が止み、試作品も全て食べつくしたところでサーシャは店を出た。夕焼けの光が花に付いている雨粒に反射して、キラキラ輝いて見える。> b r < 「また、食べに来な・・・今度は迷子にならねえ様にして」> b r < 「・・・はい」> b r < サーシャはペコリと頭を下げると教えてもらったとおりに歩いていく。すると、彼の行つていたとおりすぐに表通りに出

た。振り返るとここからではあの綺麗な花壇は見えない。穴場だなとサーシャはにっこり笑った。

(後書き)

この話、設定だけはしっかり作ってあります。全然生かせてませんけど、文章化はやっぱり難しいです。喫茶店のマスターが実は異世界トリップしたトリッパーだなんてこと書かなきゃ分かんないですよ。というかこの話に全く関係ない。

誤字脱字がありましたら遠慮なく指摘してください。ここまで読んでくださりありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3268m/>

とある世界の夏の一日

2010年12月18日14時10分発行